

平成26年度 川辺高等学校本部同窓会について

平成26年8月2日(土)18時から、川辺高等学校同窓会総会が南九州市の「ひろせ」で開かれました。鹿児島同窓会や南さつま同窓会のご来賓の方々、母校からは小屋敷浩昭校長先生、橋口浩二郎教頭先生、畦地茂行事務長先生、今年の4月に赴任し、夏の県高校野球大会で2勝を挙げ、6年ぶりに3回戦に進出を果たし私たちに沸かせてくれた、野球部監督の酒匂千速先生も参加し、総勢90名近くの同窓生が集う中、川辺高等学校本部同窓会・総会を開くことができました、

まず、亡師亡友へ黙祷を捧げた後、大坪会長が「皆様の熱いお力添えにより、生徒たちは羽ばたきやすい環境の中で生活している。地域の方々から川辺高校に行けばよかど、川辺高校にやって良かったがよ、という声を聞くようになった。大変うれしいことである」とあいさつされました。引き続き、小屋敷校長先生は、「物心両面からのご支援が子どもたちへも伝わっている。学校を原点としたつながりが、一本の線として継承されている」と話され、部活動面や学習面からの学校の現況を報告されました。その後、議長の松久保正毅さん(昭和47年卒)の議事のもと、会務報告や会計報告、事業計画、収支予算案等が審議され、全て承認されました。

そして、平成4年卒の志々目さんの司会進行のもと懇親会が開かれました。幹事代表の桑水流さんのあいさつの後、「かわなべ磨崖仏太鼓」の皆さんの和太鼓の音が会場中に響き渡りました。勇壮な太鼓の演奏が終了した後、鹿児島同窓会副会長の加治佐愷さん(昭和35年卒)の乾杯の音頭で楽しい宴が始まりました。それぞれの席では、お互いの近況や母校での思い出話に花が咲いていました。宴の途中では「川辺フィルハーモニー管弦楽団」のメンバーによる華麗な演奏がありました。弦楽四重奏の流麗な調べによる校歌斉唱も行われ、盛大に盛り上がりました。また、会場の一角には、学校の活動資金として寄付するため、低価で本をお分けしたいという東海同窓会の飯野布志夫同窓会長(昭和26年卒)の御意向で、著作集の紹介コーナーが設けられました。総計13,000円の皆様のお志が集まり、学校へ寄付されました。楽しいひと時はあっという間に過ぎ、南さつま同窓会の上東書三会長(昭和36年卒)の万歳三唱、来年度幹事を代表して平成5年卒の南部建さんの閉会のあいさつで、平成26年度の本部同窓会懇親会はフィナーレを迎えました。

大坪会長のあいさつ



小屋敷校長先生のあいさつ



平成4年卒の桑水流さん（右）と志々目さん



勇壮な和太鼓の響き



流麗な調べによる校歌斉唱



右から酒匂教諭、畦地事務長、小屋敷校長、橋口教頭



来年度の幹事南部さん



飯野東海同窓会会長の著作集と宮原楊子さん

